

## 1.バージョン

原則CSS3を使用する。

## 2.文字コード

・HTMLの文字コードに合わせる。※下記はCSSでの文字コード指定の例

```
@charset "UTF-8";
```

### ◆フォントファミリー

記述順に閲覧ユーザーのPCに入っているフォントが適用される。特に指定がない場合は以下を適用すること。

・ゴシックを指定する場合

```
"Original Yu Gothic", "Yu Gothic", YuGothic, -apple-system, BlinkMacSystemFont, "Helvetica Neue", Verdana, Meiryo, "M+ 1p", sans-serif;
```

・明朝体を指定する場合

```
"Times New Roman", "YuMincho", "Hiragino Mincho ProN", "Yu Mincho", "MS PMincho", serif;
```

**【注意点】**日本語フォント欧文フォントが混在する場合、日本語フォントには半角英数字も含まれているため、欧文フォントを先に記述しないと反映されませんので、注意してください。

## 3.BEM設計

原則としてBEM設計でのCSS構築をルールとします。

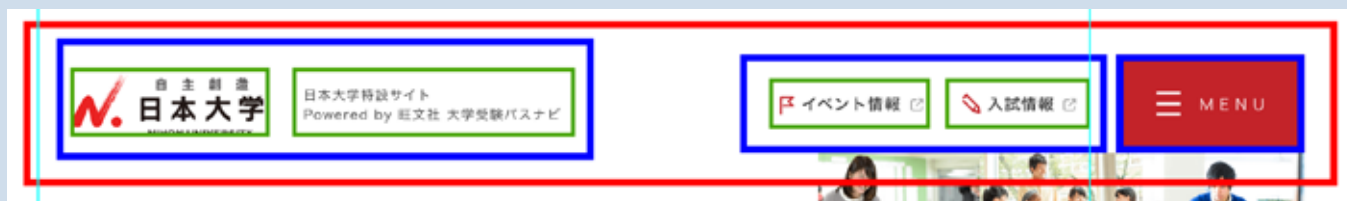
```
class="block__element--modifier"
```

- Block: 大枠となる独立した要素
- Element: Block中の要素
- Modifier: BlockやElementのスタイル

上記の要素を以下のルールに基づいて命名してください。

- blockとelementはアンダースコア2つで区切る
- Elementとmodifierはハイフン2つで区切る
- ハイフンとアンダースコアは2つ
- block, element, modifierが複数単語になる場合はキャメルケースで記述すること  
(例: class="about\_\_area--aboutList")

## ■例

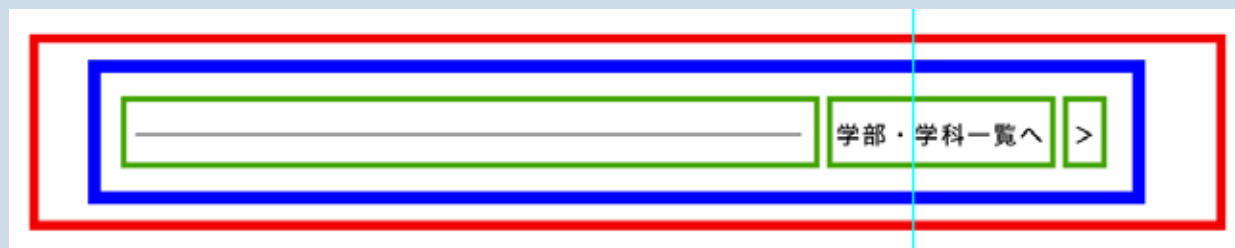


: ブロック (block) 要素。上記でいうとヘッダーのブロック

: エレメント (Element) 要素。ブロックの中の要素になります。上記でいうとヘッダーの中の左辺と右辺2つです。

: モディファイア (Modifier) 要素。リストや<a>タグなど、エレメントの中の要素になります。上記でいうとロゴや<a>タグ、ハンバーガーメニューです。

下記にもう一例紹介します。



これは別ページへのリンクですが、BEM設計で分解すると、まずボタン全体(<a>タグ)がブロック要素になります。そして、それを内包する<div>タグがエレメント要素。罫線やテキスト、アローはモディファイア要素となります。

Blockは何度も繰り返し出現することを想定し(リンクボタンなど)、それ単体のみで動作するようにすること。色違いや形が少し違うなどの場合は、後続のエレメント要素やモディファイア要素で調整する。

## 4. コメントアウト

・コメントアウトは以下のように記述する。

```
/* =====
Comment
===== */
```

## 5. 小数について

小数部の桁数は1桁とし、小数点以下第2位は四捨五入する。1の位の0は省略する。

【例】 font-size: .8em;

## 5.変数で色を設定する際のルール(SCSS)

scssにてカラーを変数で設定する際の変数名ルールを以下に記載。以下の色の場合は・・・ということではなく、同系統の色を使用する場合は以下の変数名で登録すること。同系統が複数ある場合のルールも以下に記載。

カラー	カラーネーム	設定変数名
	黒	blk
	白	wht
	茶	bln
	赤	red
	青	blu
	紺	navy
	緑	grn
	紫	ppl
	黄	yel
	灰	gry
	ピンク	pnk
	オレンジ	orn
	ベージュ	beg
	青緑	trq
	水色	aqu
	薄紫	lav
色が薄いものの場合		light- (例:light-pnk)
色が濃いものの場合		deep- (例:deep-pnk)